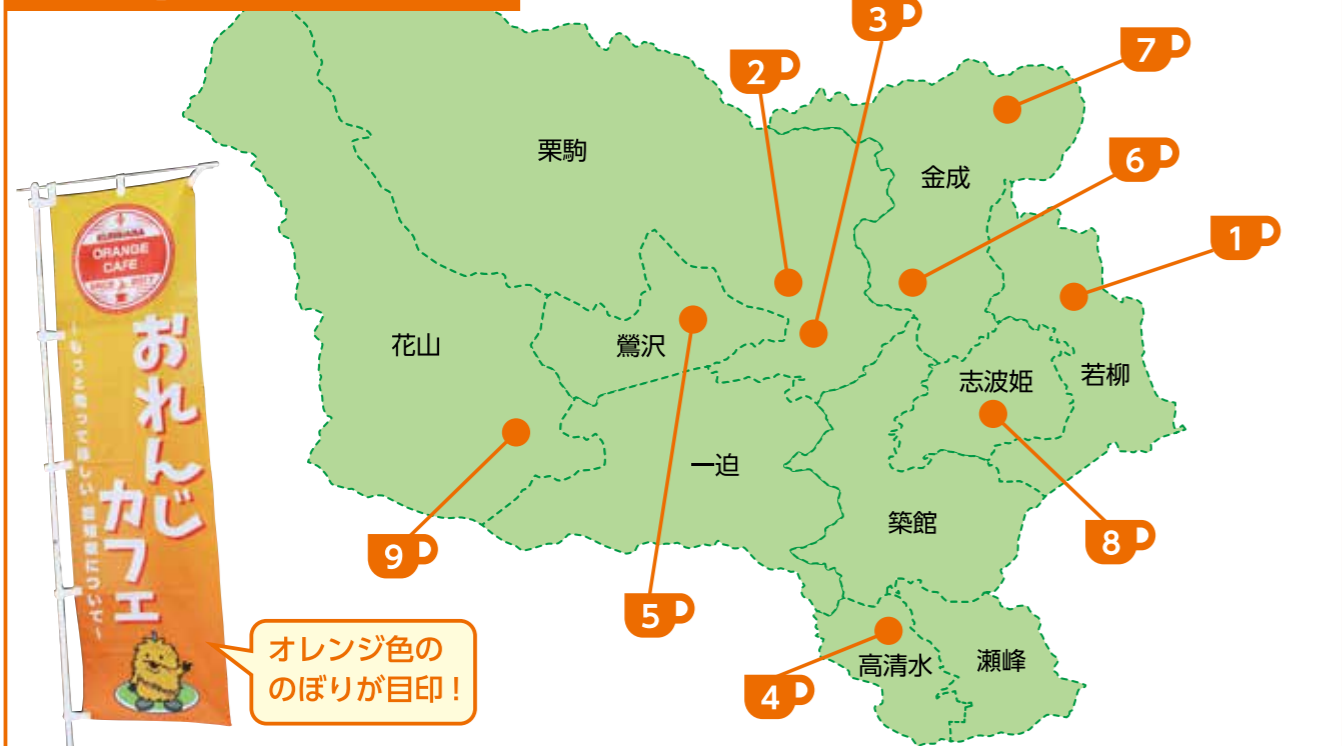


くりはら ☺ オレンジカフェマップ



番号	名称	開催日・時間	場所・問い合わせ先
1P	オレンジカフェ マロンかふえ	月1回 土曜日 午前10時～正午	若柳字福岡谷地畑3 1-1 5 ☎(24)7095
2P	オレンジカフェ 六日町	年2回 火曜日 午前10時～正午	栗駒岩ヶ崎六日町2 1-2 ☎(49)1565
3P	こもればいカフェ 清水沢	開催見合わせ	栗駒八幡清水沢6 6-1 ☎(45)6305
4P	オレンジカフェ『アクア』	開催見合わせ	高清水影の沢3 8-3 5 ☎(24)8870
5P	おれんじかふえ こっから	毎月 第3土曜日 午前10時～正午	鶯沢南郷中日照6 7-1 ☎(24)8512
6P	オレンジカフェ CARE★STA	開催見合わせ	金成中町西裏1 5-4 ☎(24)8456
7P	オレンジカフェ ひよっこ	毎月 第1土曜日(5月は休み) 午前10時～正午	金成片馬合根岸1 1 1-1 ☎(44)2046
8P	オレンジカフェ いちごの花	年6回 日曜日 午前10時～正午	志波姫新沼崎1 8 7-1 ☎090(8252)6669
9P	オレンジカフェ『どんぐり』	月1回(4月から11月まで) 午前10時～正午	花山字本沢合道4 6-5 ☎090(2991)3251

※栗駒地区のこもればいカフェ清水沢3P、高清水地区のオレンジカフェ『アクア』4P、金成地区のオレンジカフェCARE★STA6Pは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせています。再開する際は、市ウェブサイトでお知らせします。



認知症と共に生きる

将来を見据えたとき、老いは誰もが必ず直面する問題です。その中で、認知症と向き合う可能性は誰にでもあります。いつそのときが来るかは分かりませんが、自分はまだ大丈夫、若いうちは無関係と考えてしまふ人も多いのではないのでしょうか。

認知症は、高齢化とともにメディアで取り上げられる機会が増え、広く知られるようになり、共に生きるための知識と周囲の人の理解が、重要になってきています。もし、自分や家族、地域に住む仲間が認知症になったとき、どうしてほしいか、自分は何ができるかを考え行動することは、住み慣れた地域で暮らし続けるための手掛かりになります。

オレンジカフェは、認知症の人でもそうでない人も、一緒に集える場所です。まずは、身近な人を誘って、カフェに参加することから始めてみませんか。



オレンジカフェ いちごの花

オーナー
佐々木 千鶴子 さん

志波姫地区で、オレンジカフェいちごの花を運営している佐々木さんに、運営のきっかけや、カフェに懸ける思いについて話を伺いました。

ほっと一息つける場所

私は、5年前から地域の人が気軽に交流できる場所として、「コミュニティカフェ」を運営しています。オレンジカフェを併設したのは昨年からです。地域包括支援センターから声を掛けられたことがきっかけです。

介護をする人の中には、家族だからこそ相談できない、家とは別の場所や、非日常的な空間でゆっくり話をしたい、という人もいます。介護をする家族や当事者が

孤立することなく、カフェという非日常的な空間で、お茶を楽しみながら話などをして、ほっと一息ついてほしいという思いがあり、オープンを決めました。

地域の輪を広げる

私は、嫁ぎ先と実家の介護を10年ほど続けていましたが、カフェを運営してみても、私自身が介護をしていたときに、オレンジカフェのような場所があったらよかったな、と思ったことがあります。

当時は、自分の心に余裕が持てず、周囲の人に当たってしまったたり、ふさぎ込んでしまったたりすることがあったからです。

運営当初は、認知症当事者



や、介護をする家族とどのように接すればいいのか、コミュニティカフェと両立できるのかという不安がありました。みんなが楽しく活動したり、おしゃべりをしてしている様子を見ると、力をもらえ自然と笑顔になります。

これからも笑顔と笑い声が溢れ、人と人のつながりや、地域の輪を広げていけるようなカフェの運営を続けていきたいです。

オレンジカフェを利用して、加藤さんに話を伺いました。

妻が認知症と診断されて

6年前、私の妻は、若年性のアルツハイマー型認知症と診断されました。

私が定年を迎え、これから夫婦二人でゆっくり過ごせると思っていた矢先のことです。私も妻も認知症に関する知識が、ほとんどありませんでした。また、周囲にも情報が少なかつたので、困惑したことを覚えていきます。

オレンジカフェでの交流

自宅で介護をすることを選んだ私は、本やインターネットなどで自分なりに知識を得ていきましたが、それだけでは分からないことがたくさんありました。

そんなとき、地域包括支援センターから、認知症当事者や家族が交流する場所、オレンジカフェがあると紹介されました。カフェに参加することで、介護をする家族の話や、認知症について聞くことができ、情報共有や息抜きをすることもできました。

自分事として考える

認知症になっても、その人には変わりありません。認知症になった本人の意思と向き合いながら、より良い介護を続けるためには、介護をする人の心の余裕と体の健康が大切です。



認知症は、高齢者だけの問題ではありません。私の妻のように、若い人でも発症する可能性はあります。ある日突然、家族の介護に関わるようになるかもしれません。

また、介護するのは女性、もしも印象を持つ人もいます。でもありません。ぜひ、男性にもカフェに参加してもらい、介護について考えるきっかけにしてみたいと思います。

認知症に関する知識は、いざという時に役に立つので、まずは足を運んでみてください。認知症について知れる場所、オレンジカフェに。